

授業概要

レクリエーション概論でレクリエーションの根拠を知った上で、子どもから高齢者まで様ざまな対象者が「楽しい」と感じる簡単なレクリエーション活動の支援方法を体得する。

そして、イベントの企画 レクリエーション活動支援の実施有を通して、人前に立つ楽しさ、人前に立ってレクリエーション支援を提供できる喜びを体得する。

さらに、コミュニケーションスキルを体得することで、社会人として働くときの人間関係をより良好にするための方法を体得する。

授業計画

第1回	ホスピタリティ・トレーニング①レクリエーション支援に対する配慮について(一般対象用)
第2回	ホスピタリティ・トレーニング②レクリエーション支援に対する配慮について(スペシャルニーズ対象用)
第3回	アイスブレイキングの技法①レクリエーション支援の体験(一般対象用)
第4回	アイスブレイキングの技法②レクリエーション支援の体験(スペシャルニーズ対象用)
第5回	レクワーク①小集団のレク種目を体験する
第6回	レクワーク②集団のレク種目を体験する
第7回	レクワーク③集団を介した個別のレク支援を体験する
第8回	アイスブレイキングの実習①個別のアイスブレイク支援の実際
第9回	アイスブレイキングの実習②集団を介したアイスブレイクの支援の実際
第10回	アイスブレイキングの実習③スペシャルニーズを対象にしたアイスブレイク支援の実際
第11回	レク種目で実際に学習した種目、活動の技術指導実習① 外部での演習 ファミリースポーツ事業での支援の実際
第12回	レク種目で実際に学習した種目、活動の技術指導実習② 外部での演習 ファミリースポーツ事業での支援の実際
第13回	レク種目で実際に学習した種目、活動の技術指導実習③ 外部での演習 ファミリースポーツ事業での支援の実際
第14回	レク種目で実際に学習した種目、活動の技術指導実習④ 外部での演習 ファミリースポーツ事業での支援の実際
第15回	まとめ
第16回	試験

到達目標

大勢の前でリーダーシップをとることが出来る
ホスピタリティマインドでのレク支援技術を体得する
レク支援が出来るようになる

履修上の注意

積極的に参加をする
他者に対して配慮をする
レク活動が出来るようにいつもふさわしい服装で授業に参加する
(禁スカート 禁ヒール)

□実際に 土日のどちらかで 外部での演習の実際(日程は履修生と合議) 外部演習参加費用は 千円程度

予習復習

予習については授業の最後に提示をします
復習については各自ふりかえりをしておいてください

評価方法

授業の参加態度 25%
提出物 25%
ロールプレイ(レク支援の実際)の評価 25%
レポート 25%

テキスト

その都度配布 及び授業内にて 参考図書を紹介をおこなう